

2008 年度

科目名 情報文化と倫理	対象学科・学年 人間人社 1 回生	担当者 中村 雅司
授業テーマ 情報科学がもたらす、社会やわれわれの生活への影響を考える		
授業の概要と目標 現代社会は、情報通信技術（ICT）によって数多くの利便性をわれわれにもたらしています。そのことで、社会のシステム、われわれの生活様式、行動様式はどのように変容し、今後どの方向に向かっていくのでしょうか。本授業では、グループワークを交えながら、ICT に支えられた現代社会の文化的側面および倫理的側面について、現状を分析し、考察を深めていきたいと思っています。		
評価方法 随時授業中に課す課題、および学年末のレポートで評価します。		
テキスト 毎回資料を配布します。	著者	出版社
参考書 随時紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 情報通信技術の進展 コンピュータ、インターネット等の歴史的進化 2. 情報とメディアと社会の歴史 (1) 人類が築いてきた社会のそれぞれの特徴 ※人類はどの時点で「情報」を意識するようになったのであろうか。 3. 情報とメディアと社会の歴史 (2) 中世以降の情報メディアと社会のかかわり ※グーテンベルクの活版印刷、マスメディアの誕生について。 4. 情報とメディアと社会の歴史 (3) 現代のメディアの特徴と、その絶対的価値、相対的価値について学ぶ。 ※メディアリテラシーについて考える。 5. インターネット (1) インターネットの歴史、思想、通信技術 ※インターネットはどこから出発したのか、どのような技術を用いているのか。 6. インターネット (2) インターネットの普及がもたらした現代人の文化 ※電子メール、掲示板などは現代人はどのような影響を受けているか。 7. グループワーク (1) これまでのふりかえりとグループによる討論 8. 情報通信技術と知的財産権 (1) 知的財産権、著作権の概略、歴史、国際的認識 ※どの程度知的財産権、著作権について知っていますか。 9. 情報通信技術と知的財産権 (2) 情報通信技術による著作権の侵害と著作権保護 ※知らず知らずのうちに著作権を侵害していませんか。 10. 情報通信技術と知的財産権 (3) 著作権侵害の事例と、フリーソフトウェアの思想 ※企業的論理とボランティ的論理の対立と融合 11. グループワーク (2) これまでのふりかえりとグループによる討論 12. 情報通信技術と犯罪 情報通信技術による数々の犯罪 ※誰もが巻き込まれる可能性のある犯罪 13. 生活のなかの情報通信技術 生活に浸透する ICT、ユビキタス文化 ※「ユビキタス」ということばをきいたことはありますか。 14. 行政と情報通信技術 国や自治体の情報化施策の功罪 ※あなたの住んでいる自治体ではどうですか。 15. グループワーク (3) これまでのふりかえりとグループによる討論		